

第 63 回名古屋 YMCA 市内中学生バスケットボール大会(第 2 報)

大会 4 日目 (8 月 3 日) も暑さに負けて会場に行けず。露橋 SC に行くつもりでしたが・・・

5 日目の 8 月 4 日 (日) は暑さに負けないように少し早めに家を出て、千種 SC に向かいました。

地下鉄「東山公園駅」からスポーツセンターまで街路樹の日陰を選びながら歩く、やっぱり暑い。



今日は女子の 2・3 回戦、1 回戦よりも観客が多く、保護者などの応援にも熱が入っている。



成績は名古屋 YMCA のホームページをご覧ください。8 月 5 日(月)には男子の部 2・3 回戦



が行われ、それぞれベスト 16 チームが決まりました。



8月10日(土)、4日間の休みを挟み競技再開。女子の部4回戦、準々決勝が守山スポーツセンターで。大会残りの11日、12日もこの守山SCで開催される。守山スポーツセンターは「ゆとり〜とライン」の「小幡緑地」駅を地上に降りたところにあり、緑の公園と住宅地に囲まれた最高の環境にある。



4回戦は「長良 74—44 山田東」、「大森 61—43 天白」、「昭和橋 44—35 港明」、「はとり 51—38 御田」、「有松 50—47 港南」、「名塚 75—48 若葉」、「守山東 48—43 神の倉」、「明豊 81—38 富士」の8試合。準々決勝は「長良 82—47 大森」、「はとり 55—45 昭和橋」、「有松 60—47 名塚」、「明豊 105—27 守山東」の4試合。準決勝進出のベスト4は長良、はとり、有松、明豊の4チームです。



接戦で敗れたチームもまた来年を期して。



全力の応援も盛り上がって。



名古屋東海クラブの山村喜久会長も仕事の合間に駆け付け観戦。



8月11日(日)、男子の部4回戦と準々決勝が行われた。朝の目覚めが悪く、起床が遅れ今日の観戦は断念、名古屋YMCAのホームページで成績を見る。

男子の部4回戦

「吉根 59－55 東星」、「豊正 64－37 本城」、「神の倉 76－49 港南」、「滝ノ水 39－38 振甫」、「名古屋 60－57 助光」、「昭和橋 81－54 猪高」、「志段味 60－38 汐路」、「桜山 68－49 名古屋国際」

準々決勝

「吉根 72－59 豊正」、「滝ノ水 69－59 神の倉」、「昭和橋 74－49 名古屋」、「桜山 62－51 志段味」
この結果女子の部準決勝は「長良中学－はとり中学」、「有松中学－明豊中学」

男子の部の準決勝は「吉根中学－滝ノ水中学」、「昭和橋中学－桜山中学」の組み合わせとなった。

8月12日(月・振休)、女子準決勝、Aコートは「長良 86－36 はとり」、Bコートは「明豊 65－43 有松」



男子準決勝、Aコートは「滝ノ水 71－66 吉根」、Bコートは「昭和橋 57－41 桜山」



観戦のワイズメン、大島さん（東海）、杉山さん（南山）、松本さん、浅野さん、橋爪さん（東海）
鷲尾さん（東海）、ほかに川本さん、相馬さん（名古屋）、加藤明宏さん（前名古屋Y総主事）



そして女子の決勝戦「長良一明豊」・・・のはずが・・・

実は明豊中学のベンチには選手が7名のみ、準決勝で2名が負傷し、やむなく決勝を棄権することになったのです。都市の少子化の影響かと思われます。現実、都心部の中学校ではエントリー出来ない学校が増えてきています。明豊のような強豪校でも・・・。一方、教師の働き方の問題点が指摘されています。ますます学校のクラブ活動が難しい状況になってくるようです。

急遽、三位決定戦は行われないことになっているがエキジビションとして「はとりー有松」戦を行うことになった。エキジビションであっても「はとり中」のモットー「全力」で白熱したゲームでした。

男子の決勝戦は「滝ノ水一昭和橋」、最後までどちらが勝つか、1点を争うまさに白熱の好ゲームとなりました。残り数秒のところ滝ノ水のシュートが決まり逆転。滝ノ水中学4回目の優勝！



15:00 から表彰と閉会式。

成績の発表



滝ノ水中学に川本龍資名古屋 YMCA 理事長から賞状、中村隆名古屋 YMCA 総主事から優勝旗の授与



長良中学に名古屋ロータリークラブ会長から賞状とロータリー杯の授与。健闘の明豊中学。

